



令和元年度 学校だより

# 緑 柏

長崎県立佐世保南高等学校

No. 167 令和元年 6月28日発行

発行責任者 下釜 祐保

校長室の窓から

## 自分の経験、他人の経験

校長 下釜 祐保



26日、九州北部地方も遂に梅雨入りした。6月になってもなかなか雨が降らない日が続き、農家の方からは田植えができずに困っている、と何人からも伺った。気象庁によると、今年は観測史上最も遅い梅雨入りらしい。

我々の経験からは、毎年6月は梅雨で連日雨のイメージが強いが、ふと、6月を古称で水無月というのはなぜだろうとの疑問が頭をよぎった。調べてみると、水無月の「無(な)」が「の」にあたる連体助詞であるという説が有力のようだ。「水が無い月」ではなく「水の月」という説。陰暦6月が、田に水を引く時期であったことから「水の月」つまり「水無月(みなづき)」と呼ばれるようになった、との説明である。浅はかで、勝手な解釈を恥ずかしく思う。

ところで、今月も月末を迎えた。この晦日には、古くは「水無月祓」という大祓が行われた。一年に二度の大祓があり、茅で輪を作って川に流したり、人形を流したりした。半年分の自分の罪、穢れを乗せて流し半年ずつその間の罪や穢れを祓って、新しい清らかな自分を取り戻してきた。同時に、一年というのはたいへん長い期間だからであろう、一年の計に対して、半年経ったことを意識し、「今年も半年経ったぞ、やろうと思ったことはできているか」と自問する機会にしてきた。

6月は、高校生としての1つのエネルギーを爆発させた高総体が終わった。3年生は、大祓を機として、さらに希望進路実現へ向けた学習に身を転身させることも必要なことだ。

そんな折、今年度版の『進路のしおり』が完成した。毎年多くの学校でこの進路のしおりが作製されている。各校とも進路指導部の先生方を中心に学校の職員総出で分担し、文字どおり、生徒らの進路選択のしおりとなるものが作られている。中でも本校の醍醐味は、先輩等の「合格体験記」だ。今の自分の状況を1年前に経験した先輩の体験談は、共感すること、学ぶことが多いはずである。熟読して欲しい。

ドイツの宰相ビスマルクの名言に「愚者は経験に学び、賢者は歴史に学ぶ」がある。また、8月に現役引退を発表した世界的バレリーナの吉田都氏の言葉には「お稽古している時に、先生が他の人に向かって注意したことを、自分のこととして聞く人はやっぱり伸びていく。そこでぼんやりと聞いている人はやっぱり伸びていかない」がある。

明日から、今年も下半期。他人の体験談や過去のできごと、自らの人生に賢く活かしたいものだ。

## ○高総体

今年度の高総体は、5月31日（金）、諫早市のトランスコスモススタジアム長崎において総合開会式が開催され、県内各地の競技場で熱い戦いが繰り広げられました。

総合開会式では、団長の松尾教頭先生を先頭に74番目に入場しました。旗手の中尾竜太郎君（柔道部主将）以下、陸上部、卓球部の総勢62名による本校選手団は、堂々とした入場行進を見せてくれました。

今大会には本校から229名の選手がエントリーし、団体種目でも個人種目でも、選手たちはそれぞれの競技で最後の瞬間まで一生懸命戦い抜きました。また、厳しい暑さの中でしたが、多くの生徒が各競技場へ応援に駆けつけ、高総体を盛り上げてくれました。さらに、6月4日（火）には男子バレーボール部、女子バスケットボール部の全校応援が実施され、学校一丸となって熱戦を後押ししました。

本年度の主な結果は次の通りです。

●バレーボール	(男)	準優勝	(九州大会出場)
●バスケットボール	(女)	第3位	
●水泳	(男)	第1位	200M 個人メドレー 吉村 和真 (九州大会出場)
		第1位	1500M 個人自由形 吉村 和真 (九州大会出場)
		第3位	1500M 個人自由形 中原 脩久 (九州大会出場)
	(女)	第1位	200M 個人メドレー 吉村 友里 (九州大会出場)
		第1位	400M 個人メドレー 吉村 友里 (九州大会出場)
●少林寺拳法	(男)	第1位	単独演武の部 (自由) 種本 依織 (インターハイ・九州大会出場)
●アーチェリー		九州大会出場者決定プレーオフ1位	森寄 勘悟 (九州大会出場)



# 『心キラッと南高』旬間

本校では「長崎っ子の心を見つめる」教育週間に関わる実践として、6月12日（水）から28日（金）までを「心キラッと南高」旬間としています。命を大切にする心や思いやりの心の育成、マナーの向上などを目的として、スクールカウンセラー講話や薬物乱用防止教室、美化コンクール等、さまざまな取り組みを行いました。

## ○スクールカウンセラー講話

6月12日（水）の7校時に、全校生徒を対象にしたスクールカウンセラー講話が行われました。これは、“心の健康づくり”を目的として、毎年2回ずつ実施されています。

今回は、「皆さんの今を大切に過ごすために ～知って欲しい心のケア～」というテーマで講話がありました。講師の先生は、臨床心理士で本校のスクールカウンセラーである船津愛先生です。

講話の主な内容は、高校生が抱えるいろいろな悩みを紹介。

「自分の性格の悩み」「外見」「友達関係」「学業」「恋愛」「家族」「いじめ」など、実にさまざまな悩みがあります。これらを解決するために、私たちはこれまで身につけてきた対処方法や解決方法をあれこれ使い、解決の糸口を探そうとします。しかし、どれもうまくいかない状況が続き、さらに深刻な状況になってくると、ストレスが増幅され心が病んでしまう危機的な状況に陥ってしまいます。

心の危機的な状況に直面したら・・・勇気を出してSOSを出すことが大切です。SOSを受け取った人は、時には相談内容が重く負担を感じることもあるので、その場合も他の誰かにSOSを出すことが大切です。また、SOSを出した人の見守りも必要です。

相談室は「気持ちを預かる場所」「自分の気持ちを確認する場所」「他者との関係を調整する場所」でもあります。話すことで気持ちが楽になれば、自己治癒力の活性化にも繋がります。“こころは必ず回復する”と心強く話をしてくださいました。



## ○薬物乱用防止教室

6月19日（水）に「薬物乱用防止教室」を実施しました。長崎県警察スクールサポーター高田明夫様を講師として迎え、近年の違法薬物の実態と誘われたときの断り方などについて、DVD、パワーポイントを使いながら、具体的に説明していただきました。生徒たちはこの学習を通して、薬物に対してどこか他人事と考えていたこと、危機意識が甘かったことを痛感し、「薬物の誘いには絶対に乗らない」という意志を強くしたようです。



## ○美化コンクール

南高では、美化意識の向上と勉強しやすい環境をつくることを目的とし、毎年2回、クラス対抗で「美化コンクール」を行っています。第1回美化コンクールは「教室、廊下、ロッカー」を対象として、6月10日(月)～14日(金)の5日間で実施しました。

今回は、特に3年生が勉強をする環境づくりに気配りが行き届いていて、全クラスとも評価が高かったです。1、2年生は努力したクラスが多く、レベルの高い接戦でした。

あるクラスでは、掃除時間の前の授業が自教室以外での授業のときに、あらかじめ荷物を廊下に出し、いすを机の上ののせて掃除に速やかに取り組む工夫をしていました。

これからもきれいな環境で勉強に集中できるように今後の清掃活動に取り組み、今回入賞できなかったクラスも次回がんばりましょう。



【総合の部】	優勝	3年4組	2位	3年3組		
【1学年の部】	優勝	1年3組	2位	1年1組	1年2組	
【2学年の部】	優勝	2年1組	2位	2年2組	2年3組	2年6組
【3学年の部】	優勝	3年4組	2位	3年3組		

## ○地区別説明会

6月14日(金)～19日(水)の4日間、本校体育館と長崎国際大学、アルカス SASEBO の3会場で、地区別説明会を実施しました。各会場とも盛況で、4日間合計で630名を越える方々に参加していただきました。内容は、入試や進路の情報と部活動や海外研修の紹介などの他、大学の新入試制度に向けた本校の取り組みなどについて説明を行いました。

また、本校生が、先輩として自分の体験談などを含めたメッセージをのべたり、放送部が作成した「南高紹介ビデオ」を上映したり、約1時間の盛りだくさんの説明会になりました。参加した中学生や保護者の皆さんからは、「南高の楽しそうな雰囲気がよく伝わってきました」「不安もありましたが、生徒さんの生の声が聞けて少し安心しました」「放送部の動画がすごかった」「オープンスクールにも是非参加したいです」など、参加してよかったといった多くの感想をいただきました。



8月1日(木)に、オープンスクールを開催します。多くの中学生と保護者の皆さまの参加をお待ちしています。

## ○7月行事予定

～2日(火) 第1学期期末考査  
3日(水) 野球・吹奏楽部壮行式  
6日(土) 対外模試<1・2年>  
対外記述模試<3年>(～7日)  
10日(水) 校内大会  
12日(金) 三者面談<全学年>(～18日)  
13日(土) 難関大学校流会 <2年>(～14日)  
14日(日) 県立大学オープンキャンパス(～15日)



19日(金) 第1学期終業式・大掃除  
20日(土) 長崎大学オープンキャンパス  
吹奏楽コンクール(～21日)  
22日(月) 学習合宿 <1年>(～25日)  
夏季補習開始  
25日(木) 学習合宿 <3年>(～30日)  
27日(土) 全国総文祭～8月1日